

Ⅰ．概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち	担当課室		
施策分野	I	保育・幼児教育	こども未来課	教育総務課	
目指す姿	子どもが自分の個性や能力を伸ばし、夢と希望を描いています。				

Ⅱ．成果と課題

指標名	幼少期の子ども笑顔が輝き、のびのびと育っていると感じる市民の割合						施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
実績値	令和2年度	42.6 %	令和5年度		令和7年度			進捗度の 根拠や成果	・充実した人材確保は保育内容を豊かにして子どもの豊かな成長につながる。 ・職員自身がスキルアップするために研修の機会を増やし、質の向上を図ることが幼少期の育ちに大きな効果がある。 ・適正な集団が確保されることは、社会性の育成や資質を高めたり、自己肯定感を高めたり、人間関係の基礎の育ちを高めることができる。	
目指す姿に向けた課題	一人一人の子どもに丁寧に関わることができる人的環境を整えること。 適切な環境構成を整える。 保護者の子育てに寄り添いながら子の成長をともに喜び合える信頼関係を基盤にすること。							今後の 方針	・実施計画に基づく市民への説明会の開催。 ・人材確保の工夫を図るために大学等に働きかけていく。 ・業務のICT化と研修時間の確保。      ・柔軟な働き方や働きやすい職場環境の改革。	

Ⅲ．目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室	事務事業による目指す姿への効果の内容とその理由
① 教育施設再配置事業	教育総務課	保育所・幼稚園の適正配置については、櫃原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会の答申書やパブリックコメントの意見を踏まえるとともに、地域や保護者に向けた説明会を開催し、情報共有を図りながら、令和5年3月に「櫃原市保育所・幼稚園適正配置実施計画」を策定した。公立幼稚園を再編し、公私連携幼保連携型認定こども園として整備することで、子どもたちの育ちに大切な集団が確保されるとともに、保育を必要とされる児童（2号・3号認定）も受け入れることができる。また、公私連携園では、公立のカリキュラムを引き継ぐことも予定している。このことから、より子育てしやすい環境の中、子ども達に「学ぶ力」と「生きる力」をはぐくむことができる。
② 保育所・幼稚園管理運営事業	こども未来課	令和4年度も、指定園3園（真菅北、新沢、白檀）による公開研究事業を実施した。コロナ禍であるが各園ともに環境を通して生き生き主体的に関わる幼児の姿が見られた。そこには関わる職員の工夫や子どもたちの力を発揮させるスキルの資質の高さがうかがえた。子どもたちは日ごろの遊びから子ども同士がつながりながら育っていくよう様子があった。また家庭生活での経験を基に、その影響を取り入れながら遊びの発想などイメージの豊かさの育ちがあった。
③ 教育・保育総務事務	こども未来課	業務のICT化を本格的に開始した。が進み、まだ業務が主であるが、生き生きした子どもたちの園での様子を直ぐに保護者に配信したり掲示したりしながら、保育の見える化につながっている。公立幼稚園が市長部局に事務補助執行となり保育・教育の現場の子ども育ちを同じ視点で対応できるようになった。また、令和5年4月に小規模保育事業所の開園が2園あった。
④ 私立幼稚園・保育所等補助事業	こども未来課	保育士確保・離職防止につながることを期待し、私立園に対して常勤保育士1人当たり月額20,000円を給料に上乗せする保育士定着支援補助金や、保育士奨学金返済支援事業補助金、保育士宿舍借り上げ支援事業費補助金を創設した。
⑤ 幼稚園施設管理事務	教育総務課	良好な環境での保育を図るため、エアコン未整備の保育室にエアコンを整備した。

総合政策審議会からの提言等	